



温故知新



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、研究会各位、職長会会員各位の皆様には、平素の安全管理活動に対するご尽力に心より感謝申し上げます。今年の日本経済は、震災復興事業に加えて、オリンピック施設の整備、さらには民間の建設投資も活気を見せています。

今後、工事量の増加が見込まれる中、職人不足による若年労働者や外国人建設就労者の受け入れにより、労働災害の増加が危惧されているようです。そこで今年も職長会を通じて、最新の事故事例の紹介しながら、安全指導教育を行い、『指差呼称』による、自分自身の安全確認、『声掛け運動』仲間を守るための、おせっかい運動を定着させたいと考えております。また、外国人研修制度の活用と、資格取得のサポートも引き続き行い、取得者がしっかりと稼げる業界になるよう積極的に改革に取り組んでまいります。

最後となりますが、今年の干支である未（ひつじ）は、平和の象徴と言われています。皆様にとって心穏やかな年となるようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



野田工業株式会社

代表取締役

関口

嘉之



【今号の主な内容】

- P① 新年のご挨拶
- P② 指差呼称
- P③ //
- P④ // 職長会お知らせ



発行

野田工業 株式会社
東京都中央区銀座6-6-19
花菱ビル5F
TEL : 03-3572-1866
FAX : 03-3575-0420

ヒューマンエラー対策の『指差呼称』…大脳が活性化する！？

現場にはヒューマンエラーがつきもの。指差呼称を行うことによってミスをなくすことができます。
是非試してみたいはいかがでしょうか！？

◆指差呼称

"駅のホームで駅員さんが、指を差して確認している光景があります。

「指さし呼称、声だし確認」です。電車や信号への注意を向けるために、
わざわざ指を差し、声も出して確認"



電車のような人命に関係するような仕事では、必ず「指さし呼称、声だし確認」を導入しています。
お金はかかりませんが、有効な確認方法！！

重要な操作・確認の際には意識的に注意を能動的に向ける必要があるために、指差呼称は有用といわれています。

電力さんの発電機関係の点検時や補修工事なんかは必ず指差し確認と自己呼称を行います。

◆現場には危険が潜む



人間特性から生ずるいわゆる誤操作・誤判断・誤作業などのヒューマンエラーが、事故や労働災害の原因とされることが多い。そしてそのエラーの殆どは、人間の心理的な要因にかかわるものと言われています。労働災害の発生の仕組みをみると、不安全状態、すなわち機械設備や作業方法の欠陥等による事故が全体の80%を占めており、作業のあるところにはヒューマンエラーの問題が常についてまわります。

何気なく毎日やっているからこそヒューマンエラーが発生するのです。起きては許されないこともあるので注意喚起を心がけましょう。

◆指さしの方法

"呼称する項目を声に出しながら、右腕を真っ直ぐ伸ばし、対象から目を離さず、
人差し指で対象を指差します"



対象をまっすぐ指すことで意識がいきます。それが大事です。

指差し呼称は、ウツカリミスを発見する良い方法ですが、部下に指示をしても恥ずかしがってなかなか実施されません。この場合は管理者が率先して行ない、お手本を見せます。

動作には適度の緊張が必要で、正しい姿勢で、節度をつけ、キビキビと行うことが必要！！

必要以上に大声を出す必要はありませんが、「恥ずかしさ」「テレくささ」などを吹っ切るために、大声で行うようにしましょう。

◆効果が上がる

"自分のやったこと、やりたいことを指差し確認でチェックする。

これをやっていけばもううっかりに悩まされることは殆どと言って良いほどなくなる



普段の生活にも役立ててすることができます。

携帯を置いたら携帯を指さし、今ここに置いた、ということを自分で意識する。朝出社する前に忘れ物がないか、ひと通り指差しを確認

窓や玄関などの鍵かけ忘れ・ガスの元栓閉め忘れ・冬のコタツの電気消し忘れ・ストーブの消し忘れなど

◆大脳が活性化

"大きな声を出し、指をさすことで、大脳が活性化する。これは、大脳の運動領域・筋知覚領域・言語領域・視知覚領域が一斉に活動するため



やっぱり目で見ただけでは駄目なんですね。。

腕と指で確認の対象を指し、見たものを口に出して言い、いった言葉を自分の耳で聞く。このように腕、指、口、目の筋肉を動かすため、脳の覚醒を促し意識レベルが切り替えられ、確認の精度が上がります。

◆指差し唱和

"指差し呼称は原則として、1人で行うが、複数の人間で行う場合を指差し唱和という。全員で対象を指差し、唱和して確認することにより、その目標について気合を一致させ、チームの一体感・連帯感を高めることをねらいとした手法



◆めりはりを

"いつでも指差し呼称をする必要はありません。重要なところに限定すべきです。いつでもやっているとなんて思われます。シーツ交換のときに「シーツの折り目、45度、よし！」なんてやる必要はありません。薬剤のミキシングや配薬、配膳の時などは、もし間違ってしまうと大変な結果をもたらす可能性があります。まさに、このような時にこそ指差し呼称

◆実験効果

"1994年、財団法人（現、公益財団法人）鉄道総合技術研究所により、効果検定実験が行われました。同実験によれば、「指差しと呼称を、共に行わなかった」場合の操作ボタンの押し間違いの発生率が2.38%であったのに対し、「呼称のみ行った」場合の押し間違いの発生率は1.0%、「指差しだけ行った」場合の押し間違いの発生率は0.75%

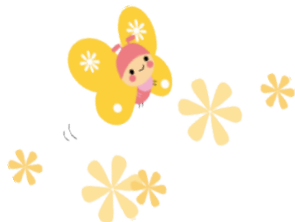


やっぱり効果はあるんですね。
実際騙されたと思ってやってみてはいかがでしょうか
でしょう!!



大成建設(株)千葉支店様の某現場の作業用通路入口にある、センサーしきの音声とともに指差呼称を復唱する機械が取り付けられています。

今後このような現場が増えてくると思います。



職長会のお知らせ

★日時 平成27年2月23日(月)

★時間 18時00分～

★会場 ニュー新橋ビル 地下2階